

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 北陸財務局長

【提出日】 2019年8月9日

【四半期会計期間】 第108期第1四半期(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

【会社名】 小松マテール株式会社

【英訳名】 KOMATSU MATERE Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 池田哲夫

【本店の所在の場所】 石川県能美市浜町又167番地

【電話番号】 0761-55-1111(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 押田善文

【最寄りの連絡場所】 石川県能美市浜町又167番地

【電話番号】 0761-55-1111(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 押田善文

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第107期 第1四半期 連結累計期間	第108期 第1四半期 連結累計期間	第107期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (百万円)	9,589	8,888	39,078
経常利益 (百万円)	785	650	2,778
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	574	500	2,131
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	97	488	707
純資産額 (百万円)	35,243	35,697	35,556
総資産額 (百万円)	48,095	47,357	47,249
1株当たり四半期(当期) 純利益 (円)	13.38	11.66	49.66
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	73.0	75.1	75.0

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

なお、当第1四半期連結会計期間において、小松美特料繊維(海安)有限公司(繊維事業)を設立しております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済に減速懸念が出ているものの、積極的な経済・金融政策を背景に、企業業績や雇用環境など緩やかな回復基調で推移しました。一方、英国のEU離脱や米国による貿易摩擦など、国際政治における不確実性の高まりなどもあり、依然として景気の先行きは不透明な状況となっております。

このような状況のなか、当社グループでは高度化並びに多様化する市場の要望に対応するため、品質向上を第一とし、グローバルマーケットに通用する先端ファブリックの開発を加速させて参りました。また、海外企業との提携を含め、海外市場の拡大を積極的に進めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、88億88百万円（前年同期比7.3%減）となり、営業利益は4億39百万円（前年同期比30.5%減）、経常利益は6億50百万円（前年同期比17.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億円（前年同期比13.0%減）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### 繊維事業

衣料ファブリック部門は、国内外において高感性・高機能素材の開発と市場導入を進めてまいりました。なかでも中国向けのファッション分野、北米向けのスポーツ・機能分野、及び中東向けの民族衣装については堅調に推移し増収となる一方、欧州向けは減収となりました。国内向けは、総じて厳しい市場環境の影響を受け、ファッション及びユニフォーム分野が伸び悩み、当部門全体は減収となりました。

資材ファブリック部門は、医療・福祉のメディカル分野については概ね計画通りに推移しました。一方リビング分野は、不採算商品からの撤退を図った結果、当部門全体では減収減益となりました。

製品部門は、不採算事業からの撤退を行った結果、減収となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当事業の売上高は87億31百万円、セグメント利益（営業利益）は4億31百万円となりました。

#### 物流物販事業

物流並びに物販分野の当第1四半期連結累計期間の売上高は1億56百万円、セグメント利益（営業利益）は5百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、473億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億8百万円増加しました。負債は、116億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円減少しました。純資産は、356億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億40百万円増加しました。

#### (2) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は1億90百万円であります。

### 3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	100,000,000
計	100,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	43,140,999	43,140,999	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数は100株であります。
計	43,140,999	43,140,999		

(注) 完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない株式であります。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年6月30日		43,140		4,680		4,720

## (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、直前の基準日である2019年3月31日の株主名簿により記載しております。

## 【発行済株式】

2019年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 121,400		
	(相互保有株式) 普通株式 100,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 42,889,900	428,899	
単元未満株式	普通株式 29,699		
発行済株式総数	43,140,999		
総株主の議決権		428,899	

## 【自己株式等】

2019年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 小松マテーレ株式会社	石川県能美市浜町又167番地	121,400		121,400	0.28
(相互保有株式) 株式会社トーケン	石川県小松市浮城町76番地1	100,000		100,000	0.23
計		221,400		221,400	0.51

(注) 株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が1,000株(議決権10個)あります。

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,779	6,785
受取手形及び売掛金	8,824	8,255
有価証券	1,500	500
商品及び製品	1,715	1,734
仕掛品	772	873
原材料及び貯蔵品	2,329	2,356
その他	125	113
貸倒引当金	28	24
流動資産合計	20,017	20,594
固定資産		
有形固定資産	7,980	7,875
無形固定資産	363	349
投資その他の資産		
投資有価証券	17,096	16,598
繰延税金資産	1,113	1,249
その他	679	693
貸倒引当金	2	1
投資その他の資産合計	18,887	18,538
固定資産合計	27,231	26,763
資産合計	47,249	47,357

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,567	5,025
未払法人税等	246	267
賞与引当金	512	297
その他	1,161	1,884
流動負債合計	7,488	7,475
固定負債		
役員退職慰労引当金	344	344
退職給付に係る負債	3,714	3,706
その他	145	133
固定負債合計	4,204	4,185
負債合計	11,693	11,660
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,680	4,680
資本剰余金	4,701	4,701
利益剰余金	25,345	25,501
自己株式	118	118
株主資本合計	34,609	34,765
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	683	618
為替換算調整勘定	116	159
退職給付に係る調整累計額	16	19
その他の包括利益累計額合計	816	796
非支配株主持分	130	135
純資産合計	35,556	35,697
負債純資産合計	47,249	47,357



## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	9,589	8,888
売上原価	7,424	7,106
売上総利益	2,165	1,781
販売費及び一般管理費	1,533	1,342
営業利益	631	439
営業外収益		
受取配当金	68	71
持分法による投資利益	76	97
その他	41	50
営業外収益合計	186	219
営業外費用		
支払利息	0	-
為替差損	27	3
不動産賃貸原価	-	2
その他	4	3
営業外費用合計	32	9
経常利益	785	650
特別利益		
投資有価証券売却益	-	2
特別利益合計	-	2
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	2	6
災害損失	3	-
特別損失合計	6	6
税金等調整前四半期純利益	779	646
法人税、住民税及び事業税	287	249
法人税等調整額	82	104
法人税等合計	205	144
四半期純利益	574	501
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失( )	0	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	574	500

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	574	501
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	433	61
為替換算調整勘定	42	45
退職給付に係る調整額	1	2
その他の包括利益合計	477	13
四半期包括利益	97	488
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	100	483
非支配株主に係る四半期包括利益	3	4

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間より、新たに設立した小松美特料繊維(海安)有限公司を連結の範囲に含めております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	299百万円	295百万円
のれんの償却額	2百万円	2百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月22日 定時株主総会	普通株式	344	8.00	2018年3月31日	2018年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月21日 定時株主総会	普通株式	344	8.00	2019年3月31日	2019年6月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	物流物販事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,424	165	9,589		9,589
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	474	483	483	
計	9,432	640	10,072	483	9,589
セグメント利益	598	20	618	13	631

- (注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。  
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	物流物販事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,731	156	8,888		8,888
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9	502	511	511	
計	8,741	659	9,400	511	8,888
セグメント利益	431	5	436	2	439

- (注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。  
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益	13円38銭	11円66銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	574	500
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	574	500
普通株式の期中平均株式数(千株)	42,946	42,903

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月9日

小松マテーレ株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	小	堀	孝	一
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	近	藤	久	晴
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	鹿	島	高	弘

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている小松マテーレ株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、小松マテーレ株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。